

付表1：小牧山の歴史

時代	年	できごと
戦国時代	永禄 6年 (1563)	織田信長が小牧山城を築城し、清須から移る。小牧山南麓には城下町を整備した。
	10年 (1567)	織田信長、稲葉山城を攻略。岐阜と改称し、小牧山から居城を移す。小牧山城は廃城となる。
安土桃山時代	天正12年 (1584)	小牧・長久手の合戦 (羽柴秀吉軍と織田信雄・徳川家康連合軍の戦い)
	慶長15年 (1608)	徳川家康は織田信長の小牧山城跡を改修して陣城を築く。 名古屋築城開始。小牧山城の石垣を持ち出しか？
江戸時代		小牧山は尾張藩領となり、家康公ゆかりの地として、一般の入山が禁止される。
明治時代	明治 2年 (1869)	版籍奉還により、小牧山は国有地となる。
	5年 (1872)	県立小牧公園として一般公開される。
	22年 (1889)	小牧山が徳川家の所有となり、一般公開を止める。
	昭和 2年 (1927)	10月26日 国の史跡に指定される。
昭和～平成	5年 (1930)	徳川家から小牧町へ小牧山が寄付される。
	22年 (1947)	東麓に小牧中学校が建設される。
	43年 (1968)	山頂に小牧市歴史館が建設される。
	平成10年 (1998)	小牧中学校を史跡外へ移転する。
	15年 (2003)	小牧中学校跡地を史跡公園として整備、開放される。
	16年 (2004)	主郭地区試掘調査開始 (第1～4次調査)
20年 (2008)	主郭地区発掘調査開始 (第1～3次調査)	

付表2：織田信長天下統一への過程と城郭

年代	信長年齢	できごと	城郭名	信長築城か？
弘治 元年 (1555)	22歳	清須城入城	清須城 : 石垣なし	×
永禄 3年 (1560)	27歳	桶狭間の戦いで今川義元を討つ		
永禄 6年 (1563)	30歳	小牧山城築城、清須から移る	小牧山城 : 石垣構築	○
永禄 10年 (1567)	34歳	稲葉山城攻略、岐阜城と改め 小牧山城から移る	岐阜城 (千畳敷) : 巨石石積	改修
天正 4年 (1576)	43歳	安土城築城開始	安土城 : 総石垣	○
天正 10年 (1582)	49歳	本能寺の変		

【用語メモ】

曲輪(くるわ) 郭とも。塀・土塁・堀などで囲われた一区画。城郭の部分呼称として使われる。

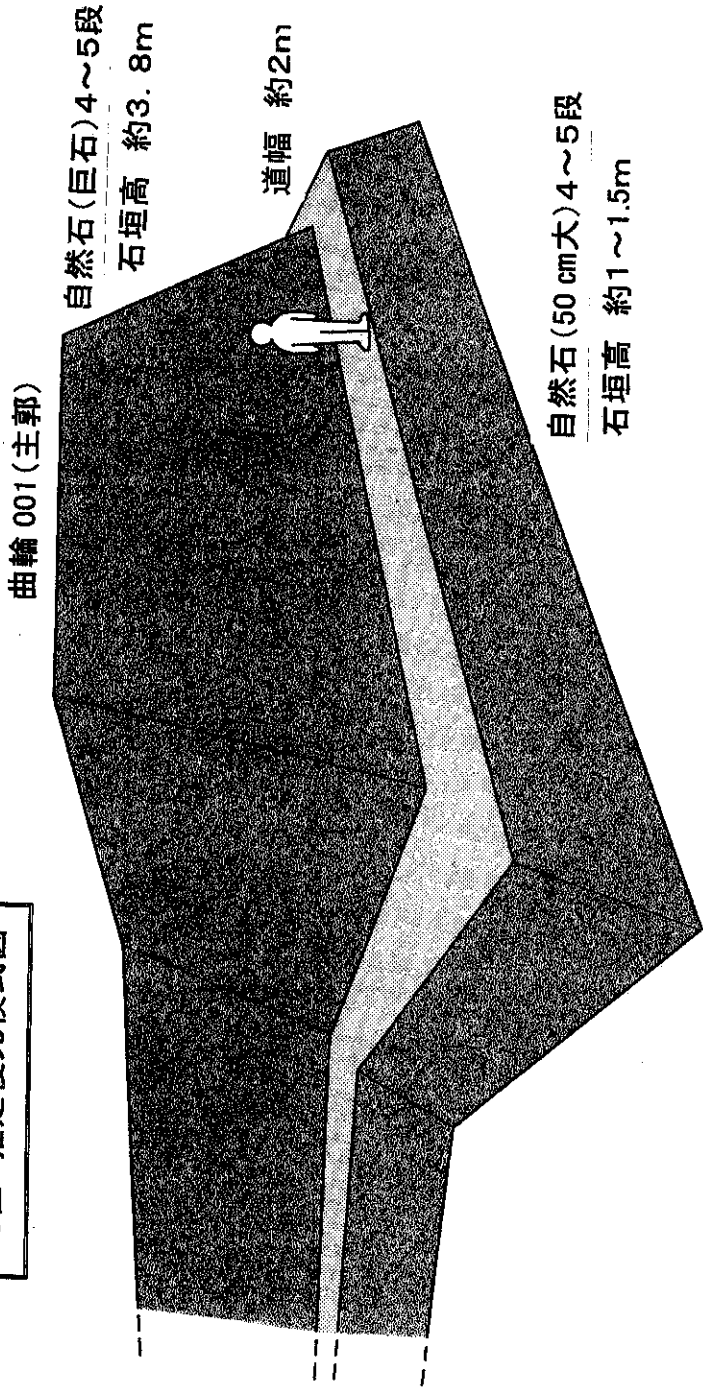
石垣(いしがき) 石を積み上げて築いた垣や壁。戦国末期の山城に野面積石垣が普及し、技術の向上とともに急速に発達。近世城郭の石垣に引き継がれ打込み刻ぎ・切込み刻ぎの石垣が出現した。

裏込石(うらごめいし) 栗石(ぐりいし)とも。排水や背面の土圧を調整し、石垣を崩れにくくするため石垣の背後に入られた石・礫のこと。

版築(はんちく) 土を盛り上げて造成する際に、造成の強度を増すために土を細かい単位ごとに突きかためながら積み上げていく技法のこと。

織豊系城郭(しよほうけいじょうかく) 織田信長・豊臣秀吉政権下で成立した築城の総称。それまでの中世城郭からは一線を画した技術と思想を持って築かれ、後の近世城郭に大きな影響を与えた。

I・J区 推定復元模式図



E・K区 推定復元模式図

